

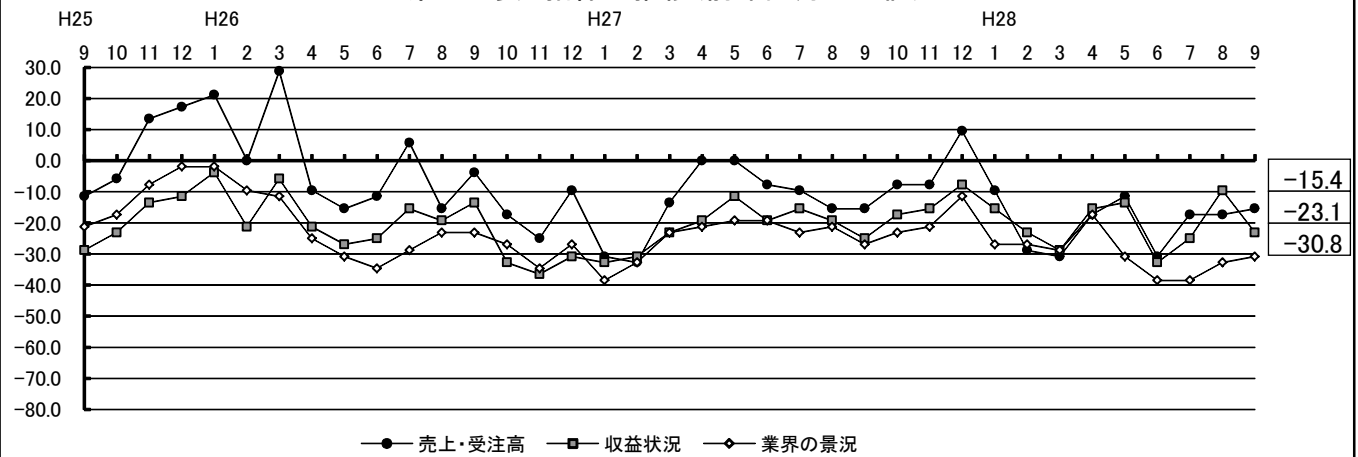
中小企業団体情報連絡員報告結果(平成28年9月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 9月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「業界の景況」が上昇し、「在庫数量」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より1.9ポイント上昇の-15.4ポイント、「収益状況」が13.5ポイント下降の-23.1ポイント、「業界の景況」が1.9ポイント上昇の-30.8ポイントであった。
- 前月比で多くの指標の数値は横ばいを示しているが、「在庫数量」が6月より下降傾向にあり、また回復傾向にあった「収益状況」が再び悪化するなど、中小企業の経営基盤を不安定にする動きが強まっていると考えられる。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-15.4	+1.9	-26.4	-0.3
収益状況	-23.1	-13.5	-27.0	-1.6
業界の景況	-30.8	+1.9	-29.9	+0.1

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より1.9ポイント上昇の-15.4ポイントとなった。全国においては、前月より0.3ポイント下降の-26.4ポイントとなった。

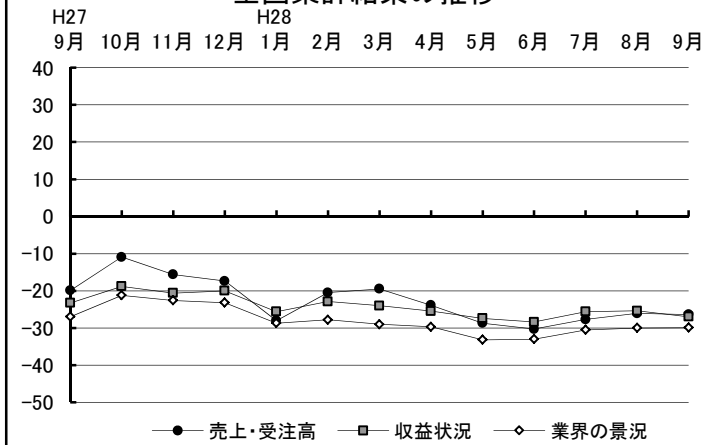
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より13.5ポイント下降の-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より1.6ポイント下降の-27.0ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント上昇の-30.8ポイントとなった。全国においては、前月より0.1ポイント上昇の-29.9ポイントとなった。

全国集計結果の推移



概況

9月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上」「景況」の2指標が上昇し、「在庫」「条件」「収益」「資金」が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より1.9ポイント上昇の-15.4ポイント、「収益」が13.5ポイント下降の-23.1ポイント、「業界の景況」が前月より1.9ポイント上昇の-30.8ポイントであった。多くの指標は前月から横ばい状態だが、「収益」が10ポイントを超えて下降し、「在庫」は6月より下降傾向に歯止めがかかっていないなど、企業の土台に悪影響を与える要素が見られる。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中2業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、2業種が低下した。「収益」は製造業で2業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で3業種が下降した。「景況」は製造業で3業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で1業種が上昇、1業種が下降した。

全国指標では、前月の前年同月比DI値と比べて9指標中3指標が上昇、6指標が低下した。人件費負担の増大に加え、内需不振と価格競争の激化に伴うデフレが進行している。こうした状況で諸経費の上昇分等の価格転嫁が進まず、投資効率の更なる低下と逸失利益の拡大を招いている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	×	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	×
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	×	△	△	×	△	×	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	×	△	△	×	×	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	×	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転 △ 不変 × 減少・低下・悪化
(DI値 +40ポイント以上) (DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	25.0	-50.0
木材・木製品	25.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-50.0	25.0	-50.0
製造業	0.0	-24.0	-8.0	-8.0	-16.0	-8.0	-16.0	4.0	-28.0
卸売業	33.3	-33.3	0.0	-33.3	0.0	0.0		33.3	-33.3
小売業	-71.4	-57.1	28.6	-14.3	-57.1	-42.9		-14.3	-71.4
サービス業	-50.0		16.7	-16.7	-50.0	16.7		-16.7	-33.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-29.6	-50.0	11.1	-11.1	-29.6	-7.4		-3.7	-33.3
全体	-15.4	-31.4	1.9	-9.6	-23.1	-7.7	-16.0	0.0	-30.8

図表3～【指標別DI値の推移】

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前月比
売上高	-15.4	-7.7	-7.7	9.6	-9.6	-28.8	-30.8	-17.3	-11.5	-30.8	-17.3	-17.3	-15.4	1.9
在庫数量	-8.6	-20.0	0.0	-2.9	2.9	0.0	-5.7	-8.6	-5.7	-11.4	-22.9	-22.9	-31.4	-8.6
販売価格	3.8	7.7	3.8	7.7	3.8	1.9	-1.9	3.8	-3.8	-7.7	1.9	1.9	1.9	0.0
取引条件	-7.7	-1.9	-1.9	-1.9	-3.8	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-7.7	-5.8	-7.7	-9.6	-1.9
収益状況	-25.0	-17.3	-15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-28.8	-15.4	-13.5	-32.7	-25.0	-9.6	-23.1	-13.5
資金繰り	-11.5	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-5.8	-11.5	-9.6	0.0	-11.5	-9.6	-5.8	-7.7	-1.9
設備操業度	-16.0	-20.0	-4.0	-16.0	-8.0	-16.0	-24.0	-20.0	-24.0	-16.0	-28.0	-16.0	-16.0	0.0
雇用人員	-7.7	-3.8	0.0	-1.9	-3.8	-5.8	-1.9	1.9	3.8	3.8	-1.9	0.0	0.0	0.0
業界の景況	-26.9	-23.1	-21.2	-11.5	-26.9	-26.9	-28.8	-17.3	-30.8	-38.5	-38.5	-32.7	-30.8	1.9

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	50.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
繊維・同製品	-25.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0
木材・木製品	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	-50.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0
鉄鋼・金属	0.0	50.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
一般機器	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
製造業	8.0	4.0	-4.0	-4.0	0.0	-4.0	0.0	0.0	8.0
卸売業	66.7	-66.7	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-28.6	-28.6	14.3	0.0	-42.9	-28.6		0.0	-28.6
サービス業	0.0		0.0	0.0	-50.0	33.3		0.0	0.0
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-3.7	-40.0	3.7	0.0	-25.9	0.0		0.0	-3.7
全体	1.9	-8.6	0.0	-1.9	-13.5	-1.9	0.0	0.0	1.9

特記事項

情報連絡員報告（平成28年9月分）

所属組合	特記事項
味そ製造業	28年産加工用米は微増だが、約3%価格上昇の見通しである。
染色整理業	低位にて推移。
外衣・シャツ製造業	百貨店の売上が特に悪く、高い商品は売れていないため、工賃と数量が伸びず。
一般製材業	計画目標には達しなかったが、前年度よりは売り上げ、加工坪数ともによかった。このまま上向きになればよいが、まだそのような状況ではなさそうだ。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。知事、宇都宮市長の選挙があるので印刷需要を期待したい。
金属製品製造業	家電の減産調整が続いている（売れ行きは不振）。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品関連…富士重工の下請けは引き続き好調に推移している。企業の生産も順調で、しばらくは現状と同様の受注があるものと思われる。ただし、長期的にはアメリカに生産拠点を移行するのではないかと不安を持つ企業も出てきている（特に二次下請け）。
一般機械器具製造業	受注量には変化がないものの、残業による賃金上昇と経常費の上昇（人件費、光熱水費、車両の燃料費）がある。緩やかではあるが、景況感に変化が現れていると思慮される。
一般機械器具製造業	本年9月は前年同月と比較すると、一部の企業の売上等収益の減少及び操業度の低下が見られたが、おおむね前年同様の結果を得た。今後の業界の景気状況の好転を期待する。
各種商品卸売業	<p>全体的には前月の業況とさほど大きな変化はなかった。</p> <p>6月決算の3社から決算結果について聞いてみた結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設関連卸売業…決算の結果はほぼ前年並みだった。今年度は7～8月にかけて前年同期よりいい動きで幸先の良いスタートである。9月に、久々の若手新入社員を確保することができたので、大切に育成してゆきたい。 産業用運搬具卸…減収・減益で厳しい結果であった。来春新卒新入社員の確保に苦慮している。 肥料・室内装飾品卸売業…前年に比べ増収・増益であった（昨年度に優秀な営業社員を中途採用することができたことが大きな要因である）。今年度も更なる増収・増益を目指したい。
食肉小売業	天候が不順で、お客様の動向が悪く、売上が減少した。仕入が幾分安く、粗利益は少し良かった。
各種商品小売業	月初の台風の影響もあり、9月も全体的に景況は良くなく、苦戦の月となった。
各種商品小売業	本年のシルバーウィークは前年と比較すると決して良い並びとは言えず、休日も一日少ないというカレンダーだったが、9月初旬にオープンしたファンシー雑貨専門店のおかげで客数は前年を超えることができた。しかしながら、売上に関しては依然として厳しい状況が続いており、3か月連続しての前年割れとなってしまった。既存店の売上げの底上げを課題とし、巻き返しを図っていきたい。

花・植木小売業	8月のお盆以降、次々と上陸する台風の影響により開花の遅れや生育不良が発生し、市場では菊類を中心に入荷量が伸びなかった。彼岸中も曇天に大雨と天候に恵まれず、店頭での動きは弱かった。
自動車整備業	新車販売ディーラーによるユーザー囲い込み戦略により、各組合員も売り上げが伸び悩んでいる状況である。
ビルメンテナンス業	顧客の物流システム変更の影響を受け、請負業の収入が減少した。
給食センター	平成28年3月末で不採算部門は撤退したが、平成28年4月より弁当の価格値上げと新規の得意先があり、売上高は前年同月比で増加となった。 食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、新調理法で製造したシニア向け弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されると思われる。
旅館・ホテル	昨年度は台風18号の影響で落ち込んだが、今年も相次ぐ台風とシルバーウィークの日並びの悪さで、宿泊者数は全体的に前年度を下回った。また、昨今は人材不足で、連休時にも思うように集客できない事情も出てきている。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは82%減、敷物用ラベルは83%減、壁装用ラベルは41%減であった。本年4～9月累計では、前年比カーテン用ラベル69%減、敷物用ラベル42%減、壁装用ラベル36%減であった。 ラベル支給（売上）金額前年同月比は54%減、累計53%減であった。 平成28年度は半年が経過したが、売り上げが前年度から半減しており、後半に期待している。
一般貨物自動車運送業	燃料価格について値上げ予告通知があり収益悪化が懸念されたが、供給過剰により前月から横ばい状態となった。稼働日数が多かったことにより売り上げは増加したが、相変わらずドライバー不足は深刻である。
貨物軽自動車運送業	当月度は一般貨物は堅調に推移し、特に決算期の人事異動などによる法人・個人の引越し貨物が増大した。全般的に見て景況感は好転しているような気がする？
一般乗用旅客自動車運送業	宇都宮交通圏（宇都宮市、鹿沼市、下野市、上三川町等）が、平成28年7月1日付にて特定地域指定を受け、第1回の特定地域協議会は9月6日に開催され、減車の方向性が確認された。今後話し合い等で意見を集約、また活性化についても協議をしていく方針である。
大谷石採石業	前年同月比較でほぼ同様のレベルで推移した。大きな物件の話もなく、特に変化はない。